

提出内容

受付番号： 620221018000005885
提出日時： 2021年10月4日15時27分

案件番号： 620221018
案件名： エネルギー基本計画（案）に対する意見の募集について
所管省庁・部局名等： 資源エネルギー庁長官官房総務課 パブリックコメント受付担当宛
意見・情報受付開始日時： 2021年9月3日15時0分
意見・情報受付締切日時： 2021年10月4日23時59分

郵便番号： 164-0011
住所： 東京都中野区中央2-48-4 小倉ビル1F
氏名： NPO法人原子力資料情報室（担当：松久保肇）
連絡先電話番号： --
連絡先メールアドレス： matsukubo@cnic.jp

提出意見：

- ・ 該当箇所： 17ページ、3-1 あらゆる前提としての安全性の確保
- ・ 意見概要： 531行目「原子力については、いかなる事情よりも安全性を全てに優先させ、国民の懸念の解消に全力を挙げる」とあるが、削除を求める。
- ・ 理由： こういう表現が、信頼を失わせるのだ。「いかなる事情よりも」などと言ってはならない。また、「全力を挙げる」などと言ってはならない。これらは、小児が、目標を掲げるときに使う表現である。
「いかなる事情」とは何か。たとえば、原子炉圧力容器の照射脆化が問題になっているが、新規基準に合格した40年超の関電高浜1号（1974年運転開始）の脆性遷移温度はなんと99度である。正気の沙汰ではない。これでも、「いかなる事情よりも安全性を優先している」と言うのか。
「全力を挙げる」と言うが、全力を挙げたら、ほかは何もできないだろう。空疎な表現だと評する所以である。

- ・ 該当箇所： 114ページ、6-7 原子力産業
- ・ 意見概要： 819行目から3832行目「小型モジュール炉や熔融塩炉を含む革新的な原子炉開発を進める米国や欧州の取り組みを踏まえつつ」云々、「ヘリカル方式・レーザー方式や革新的」云々、「ITER計画等の国際連帯を通じ、核融合研究開発を着実に推進する」、などは削除すべき。
- ・ 理由： 希望と願望は大切なことであるが、これらの文言はいただけない。何十

提出内容

年と取り組んできて、先が見えない状態である。研究者が取り組むのは勝手だが、大きな予算をつけたり、一国のエネルギー計画に取り入れるのは、誤りである。客観的な評価のできるシステムを創った上で、論及すべき課題なのである。